



福島成蹊
高等学校

特進コースREPORT

2019年8月27日
第5号
福島成蹊高校広報室

自分を変えよう！ 全学年合同合宿

【夏季学習合宿】 8月18日(日)～23日(金) 那須甲子青少年自然の家

この合宿スケジュールを見て、みなさんはどう思うでしょうか。1日の学習時間は12時間を超えます。「自分にはムリ！」……たしかに、1人だったら無理かもしれません。しかし、仲間や先輩といっしょなら、誰でもできてしまうんです。

「そんなに勉強してどうなるの」「勉強ばかりなんておかしいよ」そういう思いもあるかもしれません。しかし、右のミニコラムにもあるように、福島県の受験力は全国最下位レベルです。福島県内で通用しても全国で通用するとは限りません。何よりも、福島県の受験生が他県と比べて、勉強していないのは明らかではないでしょうか。

志望大学合格をめざす全国の高校生は学年を問わず、勉強しています。それが「受験の常識」です。福島県は、受験の常識に合わせて自分を変えていかなければ、合格はつかめません。「自分を変える」ことは簡単ではありませんが、周囲がそうであれば自然と自分も前に進んでいるのです。合宿では、自習時間は一つの机に1年生、2年生、3年生



が座ります。1年生にとっては先輩の姿勢が何よりの見本となりますし、3年生にとっては後輩の隣で気を抜くわけにはいきません。そういう環境の中で「ムリ！」がいつのまにか「できる！」になり、「もっと！」になっていくのが成蹊の学習合宿です。

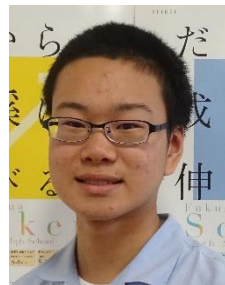
6:00	起床
6:50	自習
7:50	朝テスト・HR
8:20	朝食
12:40	学習(授業)
13:20	昼食
17:40	学習(授業)
18:40	夕食・入浴
22:40	集会 自習
23:00	就寝準備 就寝

合宿ではこれまでの怠惰な生活習慣を改め、また、朝の単語テストでは先輩方の平均点を超えることを目標に臨みました。

自習中は2, 3年生の間に1年生が座るのですが、どちらの先輩も約3時間、集中力が切れることはありませんでした。ひたむきな姿勢はすごくかっこよかったです。

合宿はあくまできっかけで、合宿に参加したから成績が上がるわけではないと思います。ここで身につけたことを普段の生活で生かして初めて意味あるものになります。

合宿には夢への第1歩を踏み出せる環境がそろっていました。日常ではできない学習環境や、僕たち以上に頑張ってください先生方。ここを再スタートとして気持ちを改めて頑張っていきたいと思います。



1年 佐野暉祈さん
(福島市立野田中出身)

成蹊の学習合宿は、単に学力を向上させるというだけでなく、自分の生活態度を見直し、改めて学習に関する向上心をかきたててくれます。

学習はどうしても授業の予習・復習や課題消化が中心になってしまうのですが、今回の合宿では、自分自身にとって必要な勉強を進めることを目標として臨みました。

合宿では友人と共に学習に励むことで、「みんな頑張っているんだから自分も！」というように互いに高めあえることができます。日常から離れることで改めて自分を見つめ直して、志望校に合格のために必要なことを思い出させてくれた夏季合宿でした。



3年 櫻井祐一朗さん
(福島市立西信中出身)

【智育活動】 介護体験・フィッシャーズ チーム



訪問メンバーには教育、看護、医療等の進路を目指している生徒も多く、今後につながる活動ができました。

お年寄りの方々もとても楽しんでいただき、お礼としてコメント付きのうちわをいただきました。スマイルハウスの入所者、所員の皆様、お世話になりました！ありがとうございました。

8月11日(日)に「スマイルハウスおひさま八木田」を訪問。お年寄りの方々と交流を行いました。

この日の出し物は「縁日」をテーマにして、水ヨーヨーすくい、わたあめ、かき氷、輪投げなどを楽しんでいただきました。

今回は2回目の訪問ということもあって、積極的に声をかけたりと、意欲的な活動ができたように思います。



大学受験ミニコラム 福島県の大学受験の現状

高校受験は県北地区内の戦いですが、大学受験からは一気に全国の受験生との戦いになります。実は、こんなデータがあります。

○福島県の東京大合格者(2018) 0.787人(高校生1000人当たり)

全国44位(東北6位) 参考: 都道府県別統計とランキングで見る県民性(Web)

○福島県の旧帝大合格者(2019) 6.971人(高校生1000人当たり)

全国43位(東北6位) 参考: 政経東北2019年7月号「駆けて来た手紙」

旧帝大とは、現在の東京大、京都大、東北大、九州大、北海道大、大阪大、名古屋大を指す言葉で、「最難関国公立大」を意味します。福島県の受験生は難関大については全国最低レベル、東北でも最下位であると分かります。

また、平成30年度の福島県の国公立大学合格者数は東北2位、東北大学合格者数は東北4位(参考: 河合塾)と、まずまずに見えるのですが、各県の人口が違うので、同じ人口と見なして換算すると…

○福島県の国公立大合格者数(2018) 1,715人(東北6位)

○福島県の東北大合格者数(2018) 83人(東北6位)

これらのデータからは、大学受験に関しては、福島県は極めて厳しい状況にあることが分かります。「福島県の常識」は大学受験では通用していないのが現状です。合格のためには、どのような勉強が、どのくらい必要なのか、「受験の常識」をふまえて臨むことが不可欠になります。